

2019年度 第6回 CPC研究会

日時：11月15日(金) 13:30～16:30

会場：化学会館 601 会議室

(〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5)

参加費：維持会員・大学官公庁関係＝無料 / 非会員＝20,000 円

<http://cpc-society.org/>

13:30～14:55

「CFCC(炭素繊維複合材ケーブル)の特徴と用途展開」

東京製綱インターナショナル株式会社 中村 憲章 氏

- 1) 会社説明
- 2) CFCC の紹介
- 3) 土木用途への展開
- 4) 電線(ACFR)用途への展開
- 5) 今後の見通し

CFCC(Carbon Fiber Composite Cable)は撚り構造を有する炭素繊維複合材料(CFRP)です。撚り構造により、CFRP に可とう性を付与することができ、長尺で巻き上げ(数千mの長尺生産)が可能となります。この可とう性や長尺製品など、従来の CFRP にはない特徴により、新たな用途で採用されています。本日はこの CFCC の特徴及び用途展開についてお話させていただきます。

15:05～16:30

「カーボンナノチューブとリチウムイオン電池応用」

信州大学 遠藤 守信 氏

- 1) カーボンナノチューブ
- 2) リチウムイオン電池への応用
- 3) 将来展望

カーボンナノチューブは、基礎科学から応用研究フェーズ、そして実用展開に発展しています。それはナノ構造の制御や量産法、そして安全性も包括した広範な領域での研究蓄積が基盤となって材料としての独自性や経済効果が確立されてきたことによるものです。特に応用分野では、携帯電子機器用リチウムイオン電池(LIB)電極材料として当初より優れた機能を発現し、電池性能の向上に継続的に貢献してきました。そして環境世紀に最重要な電気自動車用 LIB には一層重要な寄与を果たそうとしています。ここではカーボンナノチューブの広範な科学と LIB 応用を中心に紹介します。

CPC 研究会 講演会事務局 行 e-mail: sec@cpc-society.org または FAX: 029-861-8963

11月15日の第6回研究会に出席します(化学会館 [601](#) 会議室)

お名前: 維持会員 非会員 大学関係

ご所属:

Tel:

Fax:

E-mail: